

# 平成 21 年度 事業報告書

(平成 21 年 4 月 1 日から平成 22 年 3 月 31 日まで)

学校法人 関西外国語大学

# 学校法人関西外国語大学 平成 21 年度 事業報告書

(平成 21 年 4 月 1 日から平成 22 年 3 月 31 日まで)

## 法人の概要

### 1. 設置する学校・学部・学科等

関西外国語大学

大学院 外国語学研究科

外国語学部 英米語学科、スペイン語学科、留学生別科

国際言語学部 国際言語コミュニケーション学科

関西外国語大学短期大学部

英米語学科

国際コミュニケーション学科

### 2. 当該学校・学部・学科等の入学定員、学生数の状況

(平成 21 年 5 月 1 日現在)

				入学定員	3 年次 編入定員	収容定員	在籍者数	定員比
大 学	大 学 院 外 国 語 学 研 究 科	前 期	英 語 学 専 攻	15		30	21	0.70
			言 語 文 化 専 攻	20		40	21	0.52
		後 期	英 語 学 専 攻	3		9	3	0.33
			言 語 文 化 専 攻	3		9	6	0.66
		計			41		88	51
	外 国 語 学 部	英 米 語 学 科		1,200	300	5,400	6,435	1.19
		ス ペ イ ン 語 学 科		250	25	1,050	1,193	1.13
		計		1,450	325	6,450	7,628	1.18
	国 際 言 語 学 部 国 際 言 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 学 科			700	100	2,600	3,002	1.15
	大 学 合 計			2,191	425	9,138	10,681	1.16
留 学 生 別 科			400		400	429	1.07	
短 期 大 学 部	英 米 語 学 科		1,100		2,200	2,612	1.18	
	国 際 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 学 科		0		0	1	-	
	短 大 合 計		1,100		2,200	2,613	1.18	
総 計			3,691	425	11,738	13,723	1.16	

### 3. 役員・教職員の概要 等

(1) 役員 (平成21年5月1日現在)

理事 7人(うち、理事長1人)

監事 2人(うち、常勤監事1人)

(2) 教職員数 (平成21年5月1日現在)

(1) 教員		専任	非常勤	計
大 学	外国語学部	169 ( 77)	154 ( 47)	323 ( 124)
	国際言語学部	79 ( 26)	30 ( 11)	109 ( 37)
	研究所等	4 ( 1)	13 ( 4)	17 ( 5)
	計	252 (104)	197 ( 62)	449 (166)
短期大学部	英米語学科	53 ( 7)	49 ( 19)	102 ( 26)
	国際コミュニケーション学科	0 ( 0)	0 ( 0)	0 ( 0)
	研究所等	1 ( 0)	0 ( 0)	1 ( 0)
	計	54 ( 7)	49 ( 19)	103 ( 26)
合 計		306 (111)	246 ( 81)	552 (192)
(2) 職員		専任	臨時	計
中宮学舎		109	2	111
穂谷学舎		34	6	40
合 計		143	8	151
教職員合計		449	254	703

注 ( )は外国人教員内数

(3) 業者委託	158
----------	-----

#### 4 . Mission [建学の理念]

国際社会に貢献する豊かな教養を備えた人材の育成  
公正な世界観に基づき、時代と社会の要請に応えていく実学

本学の歴史は、第二次大戦が終結した直後の昭和 20 年 11 月、大阪市東住吉区に創立された谷本英学院に始まる。

創立者は、戦後日本の復興と国際社会への復帰を「外国語教育」に託した。その思いは、国際人の育成と実学重視を謳う「建学の理念」に結実し、本学の過去、現在、未来をつなぐ行動原理となっている。

#### 5 . 関西外大ルネサンス 2009

本学教職員で構成された理事長の諮問機関「将来構想検討委員会」(委員長・谷本義高 大学学長)は、平成 21 年 10 月、少子化とグローバル化が進み、大学間競争が激化する中で、社会と時代の変化、ニーズを的確にとらえ、より魅力ある、個性あふれる大学として存在感を高めていくために、中・長期ビジョン「関西外大ルネサンス 2009」を策定答申し、理事会で決定した。

具体的な今後の指針となる「外大ビジョン・6つの柱」を中心に据え、キャッチフレーズは「キャンパスは“ちきゅう”」を掲げた。また、本学に集う全員が常に心がけるべき「関西外大人行動憲章」を制定した。

##### < 外大ビジョン・6つの柱 >

国際通用力を保証する言語教育の実践拠点  
高度な専門職業人育成へのアプローチ  
国際人にふさわしい人間力の涵養と全人教育の推進  
「キャンパスは“ちきゅう”」 学びのフィールドを広げ、深める  
地域はパートナー 「グローカリズム」の実践  
大学力の強化と充実 力強い未来のために

##### < 関西外大人行動憲章 >

学の研鑽	わたしたちは、専門の語学、言語はもとより、多様な学問分野において常に研鑽を積み、知識基盤社会の構築、発展に寄与します。
国際人としての自覚	わたしたちは、地球社会の一員であることを常に自覚し、異なる文化の尊重と共存、相互理解を推進します。
国際貢献	わたしたちは、国際社会の平和と安全、繁栄と共生に向け、地球規模の課題克服に取り組みます。
人間力の涵養	わたしたちは、個としての健全なる自我の確立とともに、社会的存在として全人的な資質の向上を図ります。
地域参画	わたしたちは、自らの知識や能力、ならびに大学の教育資源を生かし、拠って立つ地域の文化的、教育的発展に貢献します。

## 事業の概要

### 1. 全体事項

#### 平成 21 年度入学式

平成 21 年度の大学院、大学、短期大学の入学式が 4 月 2 日、中宮キャンパスの谷本記念講堂で 3 回に分けて行われ、編入学を含む新入生総勢 4327 人が入学した。内訳は大学院博士課程前期 19 人、同後期 1 人、外国語学部 1722 人（英米語学科 1427 人、スペイン語学科 295 人）、国際言語学部 793 人、短期大学部英米語学科 1289 人。3 年次編入学は外国語学部英米語学科 371 人、スペイン語学科 7 人、国際言語学部 125 人の計 503 人。

#### 中国・天津外国語学院修学長に名誉博士号授与

4 月 2 日国際言語学部の入学式の後、中国・天津外国語学院 修剛学長に名誉博士号を授与した。中国における日本語教育の推進に対する尽力をはじめ、高い学識に加え本学との交流、日中交流への貢献が授与理由。

#### 大学ランキング 5 項目でトップ

2010 年版大学ランキング（朝日新聞出版）で、本学が 5 項目でトップにランクされた。全国の 745 大学を対象に、さまざまな機関が行った調査を集計し、分野別に掲載している。本学は、海外留学生派遣数、国際ボランティア参加者数、エコボランティア参加者数、キャビンアテンダント採用者数、編入学生数の 5 項目で全国 1 位。

#### 新型インフルエンザで全学休校

新型インフルエンザの感染者が兵庫県や大阪府に拡大したのを受け、5 月 18 日 3 限から 5 月 24 日までを全学臨時休校とし、この期間のクラブ活動などの課外活動や学校行事を中止した。このため、5 月 20 日開催予定の公開講座や、23 日開催予定の留学生別科終了式が中止された。

#### 短期大学部国際コミュニケーション学科最後の卒業生

9 月 19 日、平成 21 年度の 9 月卒業式と入学式が中宮キャンパスで開かれ、94 人の卒業生を送り出し、20 人の新入生を迎えた。短期大学部国際コミュニケーション学科では、長期留学のため卒業を半年延期していた最後の卒業生を送り出した。

#### 穂谷キャンパスに孔子学院設立

9 月 22 日中国国家漢弁・孔子学院本部及び北京語言大学と「関西外国語大学孔子学院」設立に関する合意書に調印した。孔子学院は、中国政府が 2004 年から各国の大学などの教育機関と提携し、中国文化や中国語の教育・普及のために共同設立した非営利教育機関。

12 月 16 日には、在大阪総領事館、北京語言大学など来賓・関係者が出席し、銘板除幕式（開校式）を開催した。

### 谷本榮子理事長が藍綬褒章受章

秋の褒章で、谷本榮子理事長が藍綬褒章を受章した。女性として初めて使用者委員に就任するなど大阪府労働委員会委員として15年余にわたる労働行政への貢献が評価されたもの。

### 短期大学部の入学定員を削減

本学は、短期大学部の入学定員を平成22年度から200人削減して900人とすることを決定し、文部科学省へ届け出た。定員削減の理由は、定数の確保と学力水準の維持。

### 新学部「(仮称)英語キャリア学部」設置構想

1月、中宮キャンパスに新学部「(仮称)英語キャリア学部」を設置する構想が発表された。入学定員を120人とし、本年5月末までに文部科学省へ設置認可申請をおこない、23年4月設置をめざす。

### 平成21年度学位記授与式 3703人巣立つ

平成21年度の大学院、大学、短期大学部の学位記授与式が3月20日、中宮キャンパスの谷本記念講堂で3回に分けて行われ、総勢3703人が巣立った。内訳は大学院18人、学部2501人、短期大学部1184人。大学院の2人が博士号を取得した。大学21人、短期大学部11人の計32人に成績優秀賞が贈られたのに加え、昨年設けられた駐日スペイン大使賞と今年新たにメキシコ大使館の好意で設けられた駐日メキシコ大使賞に、各2人が選ばれた。

## 2. 学生確保対策

### (1) 入試広報活動

#### 8回のオープンキャンパスに延べ8129人参加

5月3日を第1回としてスタートした平成21年度オープンキャンパスは、中宮・穂谷両キャンパス合同が5回、穂谷キャンパス単独が2回、中宮キャンパス単独が1回、計8回開催した。参加者は7月24日・25日両日での3950人をピークに、延べ8129人にのぼった。

各オープンキャンパスでは、高校生や保護者らが参加し、22年度の入学試験の概要説明を受けたほか、ネイティブ教員による体験授業や留学制度などの個別説明会、長期留学から帰国した外大生、海外からの留学生との懇談などを行った。

#### 入試アドバイザー制度を新設

5月12日、志願者確保対策の一環として、入試アドバイザー制度を新設し、入試部経験者ら職員20人に委嘱した。学内外での入試説明会をサポートしたり、個別に高校を訪問するなど、本学をPRした。

#### 高校教員対象の入試説明会 148人が参加

近畿2府4県と三重県の進路指導を担当する高校教員を対象とした本学の平成22

年度入試説明会が7月10日、中宮キャンパスで開かれ、141校から148人が参加した。昨年より参加校は7校、参加者は10人増えた。

「OB・OG教員」のつどい 今年度から毎年開催へ

今年度から毎年開催となった第11回OB・OG教員のつどいが7月11日、中宮キャンパスで開かれ、関西を中心に39人が参加した。

## (2) 入試

### 初の地方入試実施

11月14、15日の両日、平成22年度の公募制推薦入試は、中宮キャンパスのほか、初めて名古屋・広島・福岡の3市の地方会場で実施した。一般入試前期日程も、同じ3地方会場で実施した。

### 高大連携協定すすむ

平成21年度は、私立近江兄弟社高校(近江八幡市)私立大阪桐蔭高校(大東市)私立大阪夕陽丘学園高校(大阪市)の3校と「高大連携協定」を締結した。既に提携している大阪信愛女学院高校(大阪市)大谷高校(京都市)比叡山高校(大津市)とあわせ、計6校となった。提携校を対象に、語学力向上プログラムを開講するとともに、受験者に対する特別入試枠を設定した。

### 語学力向上プログラム開講

平成22年度入試から導入する高大連携特別入試制度の一環として、英語や中国語に特に興味を持つ学生を対象にした「語学力向上プログラム」3コースを開講した。関西地区の高大連携協定校など23校の2、3年生計90人が受講した。3コースは、中宮キャンパスの「TOEFLスキルアッププログラム」(5日間)穂谷キャンパスの「メディア英語の達人養成プログラム」(2泊3日)、「中国通」育成プログラム」(2泊3日)。

### 平成22年度入試

平成22年度入試の志願者総数は外国語学部7728人、国際言語学部2498人の計1万226人、短期大学部3034人だった。外国語学部が624人と大幅に増えたが、国際言語学部が668人の減少、短期大学部は微増した。少子化の中、志願者の減少が心配されたが、ほぼ前年並みを確保した。

合格者総数は大学4163人(外国語学部2800人、国際言語学部1363人)短期大学部1820人の計5983人だった。

3年次編入学の志願者は1078人で、うち491人が合格した。合格者の内訳は外国語学部英米語学科366人、スペイン語学科4人、国際言語学部121人。大学院入試は合格者計43人、博士課程前期が38人、同後期5人。

## 3. 教育研究

### (1) 教育

#### 外国語学部の新カリキュラム スタート

外国語学部では、平成 21 年度から新たにコース制を導入し、進路に沿ったキャリアデザインが創造できるよう、開設授業科目を大幅に拡充、必要な教員を補充したうえで、「国際関係コース」「地域文化コース」「言語コース」の 3 コースを開設した。外国語教育をベースに、国際事情や異文化などさまざまな分野の専門知識を養い、「語学、その先へ」をめざす。

#### 国際言語学部の新カリキュラム スタート

国際言語学部では、「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「国際ビジネス」の 4 つのコミュニケーションコースに加え、平成 21 年度から新に「国際メディア英語コミュニケーションコース」を開設した。さらに、これらの学修を基盤とした発展領域としての 7 つのインテンシブ（「中国語」「英語」「国際ビジネス」「異文化コミュニケーション」「国際協力」「フランス語」「ドイツ語」）を設定した。

#### 外国語学部でクラスアドバイザー制度スタート

外国語学部は 21 年度入学生からクラスアドバイザー制度をスタートさせた。従来のクラスカウンセラーは、出席不良学生などへのアプローチが中心だったが、新制度は専任教員全員がアドバイザーとなって、学生が学習力、適応力、人間力を身につけられるようきめ細かくアドバイスする。

#### F D 活動

平成 21 年度の F D 活動は、授業研究（年 2 回）ワークショップ（年 2 回）シンポジウム（年 1 回）F D ニュースレターの発行（年 4 回）など昨年度の活動方針を踏襲しつつ、5 月には F D 委員会主催の教授法研究のための「新任教員研修会」を初めて開催した。さらに年 2 回実施する授業公開期間について、教員同士がより参観しやすいよう従来の 1 週間から、春学期は 2 週間へ、秋学期は 1 ヶ月へと拡大し、環境の整備・改善を図った結果、参観者が大幅に増加した。

#### 短期大学の英語自学自習システムが運用開始

5 月、短期大学の学生を対象に携帯電話を利用した英語自学自習システムとして開発された「TOEIC モバイル」の運用が開始された。文部科学省の教育 GP に選定された短期大学の「ファーストステージで学びの進化をカタチに」の事業の一環。

#### 大学院「ラテンアメリカ特別研究」リレー講義

企業や国際機関の専門家が中南米のビジネスや魅力を紹介する大学院「ラテンアメリカ特別研究」リレー講義を開催した。秋学期を中心に 13 回実施したが、今年度の特徴は、中南米 3 か国の駐日大使が自国をアピールする「大使の授業」であった。なお、今年度から一般市民も受講できる公開講座として実施した。

#### 平成 20 年度授業評価まとまる

平成 20 年度の授業評価の分析結果がまとまり、中宮、穂谷両キャンパスの学部、短期大学の教務委員会が公表した。詳しい資料と分析結果は図書館学術情報セン

ターで公開した。今後の授業改善に反映していく。

## (2) 研究活動

平成 21 年度科学研究費補助金に 8 件採択、うち新規 6 件

文部科学省と日本学術振興会が交付している平成 21 年度科学研究費補助金に本学から 8 件が採択された。内訳は新規 6 件、継続 2 件。

国際シンポジウム「東アジアにおける農耕文化とウタ」

8 月 20・21 日両日にわたり、日中韓 3 国の歌謡を通じて農耕文化の源流を探る国際シンポジウム「東アジアにおける農耕文化とウタ」が、中宮キャンパスで開催された。20 日の講演会と日中韓 3 国の伝統芸能の発表会は一般にも公開され、研究者だけでなく、学生・教職員、市民ら約 150 人が参加した。

研究論集第 90 号発刊

9 月に本学の研究論集第 90 号を発刊した。本号には、論文 4 編、研究ノート 2 編、教育研究報告 4 編、計 10 編を掲載。

## 4. 国際交流

平成 21 年度末の単位互換提携大学は、50 か国・地域の 330 大学

国・地域別では、アメリカ 159、カナダ 19、オーストラリア 19、中国 16、スペイン 11 がトップ 5。

中国・北方工業大学から、初の学位留学生受け入れ

9 月、中国・北方工業大学から国際言語学部の 3 年次に 13 人の学位留学生を受け入れた。21 年春発足した本学の教育 G P 「『A S E A N + 3』大学コンソーシアム構想」の一環。

韓国・嶺南大学が本学学生対象に「韓国文化理解講座」

韓国大邱広域市の提携校・嶺南大学が、本学学生を対象にホームステイも組み込んだ「韓国文化理解講座」を開講した。9 月の 10 日間、参加者 13 人で実施された。

秋派遣合格証書授与式 26 か国・地域 132 大学へ 311 人

平成 21 年秋、26 か国・地域 132 大学へ派遣される長期留学生、日本語教員インターン生が決まり、6 月 13 日、中宮キャンパスで合格証書授与式が行われた。

留学プログラム別では、学位留学 17 人、2 カ国・2 カ年 12 人、交換 172 人、推薦 18 人、英語/レギュラー留学 57 人、英語留学 25 人、日本語インターン留学 7 人、中国日本語教員インターンシップ 3 人がおり、総計 311 人。

留学生別科 (2009-10 年度) 39 か国・地域 195 大学 440 人が入学

留学生別科 (Asian Studies Program) の 2009-10 年度入学式が 9 月 3 日、中宮キャンパスで行われた。今年度の入学生は 39 の国・地域、195 大学から 440 人。

春派遣留学生 109 人に合格証書

平成 22 年春に派遣される留学生の合格証書授与式が 1 月 22 日、中宮キャンパスのマルチメディアホールで行われた。合格証書を授与されたのは、9 か国 27 大学に派遣される 109 人で、1 年半の英語 / 推薦留学が 2 人、1 年の交換留学 53 人、英語 / レギュラー留学 48 人、中国インターンシップ (日本語) 6 人。

留学生別科の受け入れ留学生 過去最高 年間 708 人

留学生別科 (Asian Studies Program) の 2010 年春学期が 2 月 1 日スタートした。今学期の学生は、38 か国・地域の 206 大学から派遣された 457 人で、このうち 189 人は 09 年秋学期からの延長組。09 年秋学期、10 年春学期合わせた留学生数は 39 か国 247 大学の 708 人と初めて 700 人を突破し過去最高となった。最多はアメリカの 420 人、次いでオーストラリア 47 人、イギリス 25 人、カナダ 24 人、スウェーデン 22 人、韓国 15 人、ドイツ 15 人、フィンランド 14 人、フランス 12 人などとなった。

ベトナム国立社会・人文科学大学と二重学位協定を締結

1 月 14 日、ベトナム国立社会・人文科学大学との二重学位協定調印式が行われた。平成 20 年度の文部科学省教育 GP に選定された本学の「『ASEAN + 3』大学コンソーシアム構想」の一環で、22 年秋から学生の受入・派遣が始まる予定。

## 5 . 学生生活支援

新学生証を導入

平成 22 年度 4 月から新学生証を導入することになった。新学生証は、現学生証と同様 IC チップ内臓だが、非接触型のフェリカ・カードとなり、電子マネー機能が付加されるので、キャンパス外でも買物ができる。

「関西外大入学時支援奨学金」の新設

本学独自の奨学金として、「関西外大入学時支援奨学金」を新設した。優秀な成績で合格したが、経済的な理由で入学困難な者に対し、入学金と春学期の授業料・教育充実費を各々半額免除するもの。平成 22 年度入試では、選考の結果、学部 85 人、短期大学部 36 人、合計 121 人が採用された。

## 6 . 就職支援

平成 20 年度卒業生の就職実績

平成 20 年度卒業生の最終的な就職状況がまとまった。5 月 1 日現在、大学は 98.1% (前年同期 98.4%) でほぼ前年並み、短期大学部は 92.5% (同 96.5%) と前年を下回った。

教職員対象の「自己発見レポート」結果報告会

5 月 28 日、学生のキャリアアップをめざし、主に大学・短期大学部 1 年生のクラスアドバイザーら教職員対象の「自己発見レポート」結果報告会が開かれ、教職

員約 40 人が参加した。

#### 教職員の「進路・就職勉強会」

6 月 25 日、大学のキャリア教育と学生の進路・就職指導をテーマに、教職員対象の「進路・就職勉強会」が開催され、クラスアドバイザーを中心に約 50 人が参加した。

短期大学のプロジェクトが文部科学省の「学生支援推進プログラム」に選定。

7 月、文部科学省の「学生支援推進プログラム」に応募していた、短期大学のプロジェクト「短大・企業・学生の三位一体による就職支援システムの構築」が選定された。

#### 「キャリア講座」が平成 22 年度から授業科目へ

学生のキャリア支援を目的として、平成 19 年度から中宮キャリアセンターが毎年企業など外部の講師を招いて実施してきた「キャリア講座」は、22 年度から外国語学部、短期大学の正式な授業科目として開講し単位認定の対象とすることを決定した。

#### 東京と大阪に就職活動拠点を設置

学生の就職活動支援を強化する一環として、2 月、パソナグループとの間で、同グループが東京と大阪の中心部に設置しているサテライトキャンパス「PASONA 学職カフェ」を利用し、その場でカウンセラーの指導が受けられる業務委託契約を締結した。

大学のプロジェクトが文部科学省の「就職支援推進プログラム」に選定。

2 月、文部科学省の「就職支援推進プログラム」に応募していた、大学のプロジェクト「諦めるな！文系大規模大学の官民学連携緊急就職支援プログラム」が選定された。

#### 卒業生への就職支援強化

従来より卒業後 3 年程度の就職支援を実施してきたが、厳しい就職環境に対応し、3 月に就職セミナーを開催する等より一層決め細かな支援体制を構築した。

## 7. 社会貢献・産学連携

### (1) 公開講座

#### 外尾悦郎氏の講演と比石妃佐子氏ピアノリサイタル

4 月 23 日、スペイン・バルセロナのサグラダ・ファミリアの彫刻主任として有名な外尾悦郎氏の講演「ガウディーの感性 地中海の感性」と夫人である比石妃佐子氏の「アルベニス没後 100 周年記念ピアノリサイタル」が谷本記念講堂で開催され、400 人を超える参加者があった。

#### 劇団クセック A C T 公演「フエンテ・オベフーナ」

6月17日、谷本記念講堂において劇団クセックACTによる「フエンテ・オベローナ」(翻訳脚色・本学教授田尻陽一)公演が催され、学生、教職員、一般市民計約250人が参加した。

#### ITCL公演 英語劇「クリスマスキャロル」

イギリスの劇団「International Theatre Company London (ITCL)」による英語劇「クリスマスキャロル」が11月4日、国際文化研究所主催の公開講座として中宮キャンパス・谷本記念講堂で上演され、外国人留学生や本学の教職員、学生、枚方市民ら約1000人が参加した。ITCLの公演は本学では平成17年の「リア王」以降5回目。

#### 「カザルスの生涯と芸術」

11月6日、中宮キャンパス・マルチメディアホールで「カザルスの生涯と芸術」が開催された。パブロ・カザルスをしのび、本学の松田健教授の解説とチェロ演奏(ピアノは奥戸雅子氏)に、学生・教職員、市民ら約400人が参加した。

#### 吹奏楽部「オータムコンサート」

11月17日、恒例の吹奏楽部「オータムコンサート」が谷本記念講堂で開かれた。学生や教職員、市民が詰めかけ、約350人が参加した。

#### 本学で初開催「ひらめき ときめき サイエンス」

全国の大学で小中高生を対象に2005年度から行われている「ひらめき ときめき サイエンス」が、12月12日本学中宮キャンパスで初めて開かれた。テーマは眞鍋教授らが科学研究費を得て進めている「東アジアにおける歌謡の比較研究」で、大阪・京都の高校生24人と引率教員に、日中韓3国の田植え歌などを映像を交えて紹介した。

#### 上海外国語大学芸術団交流公演

関西外国語大学孔子学院開校を記念した公開講座「上海外国語大学芸術団交流公演」が1月18日中宮キャンパス谷本記念講堂で開催され、学生が熱演する中国の民謡、舞踏、民族楽器の演奏などを、学生や市民約350人が楽しんだ。

## (2) 教職英語教育センター

#### 小学校英語教育指導者養成研修

大阪府内の小、中学校の教員を対象とする教職英語教育センターの「小学校英語教育指導者養成研修」(春期)が5月30日~6月27日に計5回、中宮キャンパスで実施された。また、修了者には本学の「修了証」、認定試験の合格者には「指導者認定書」を交付した。小・中学校教員や教職課程を履修する学部生計33人が参加した。

#### 小学校英語活動指導者養成研修講座

大阪府内の小、中学校の教員を対象とする教職英語教育センターの「小学校英語活動指導者養成研修講座」(秋期)が11月28日~12月19日に計4回、中宮キャン

パスで実施された。小・中学校教員や教職課程を履修する学部生計 34 人が参加した。

#### 教員免許状更新講習

21 年度から導入された「教員免許更新制」に伴い、8 月 4～7 日の間、中宮キャンパスで教員免許状更新講習が行われ、高校の英語教員 3 人が受講した。

#### 小中高、特別支援学校 10 年経験者研修

8 月 6 日、大学連携講座の一環として、大阪府教育センター主催の「小中高、特別支援学校 10 年経験者研修」が中宮キャンパス教職英語教育センターで実施され、18 人の教員が参加した。教育公務員特例法に基づき行われるもので、指導力や教員としての資質の向上を図るのが狙い。

#### 小松製作所英語研修

小松製作所大阪工場からの依頼を受けて、教職英語教育センターによる産学連携プログラム「関西外大・小松製作所英語研修」が 10 月 20 日から 12 月 22 日まで週 2 日計 15 コマ実施され、海外の人と接することが多い同工場の 12 人が参加した。

#### 平成 21 年春 教員採用 66 人

平成 21 年春の卒業生のうち小中高校の教員に採用されたのは 66 人だった。内訳は専任教員が 20 人（高校 1 人、中学 16 人、小学 3 人）、常勤講師が 33 人、非常勤講師が 13 人。

## 8 . 施設・設備

#### 大阪国税局枚方宿舎跡地を購入

3 月、中宮キャンパスに隣接する大阪国税局枚方宿舎跡地（4912 m<sup>2</sup>）を財務省近畿財務局から譲り受けた。隣地の小松製作所大阪工場の一部も譲り受け、4 階建 9800 m<sup>2</sup>の建物（仮称）英語教育センターを新築する計画で、研究所・センターが移転入居するほか、教室、ホールを備え、留学生との交流やキッズ対象の英会話教室なども構想している。建物完成は、平成 24 年春の予定。

## 9 . 自己点検・評価

#### 教育研究年報第 4 集発行

本学の教育と研究を自己点検・自己評価し、今後の改善につなげることを目的とした教育研究年報第 4 集（平成 20 年）を刊行した。平成 17 年度に発行した第 3 集から 3 年経ち、7 年毎の第三者評価の中間年に自己点検・評価したものの。

## 10 . 卒業生との連携強化

#### ホームカミングデー・同窓会総会開催

11 月 22 日に関西外国語大学同窓会の第 1 回総会が開催され、役員選出と規約制定を行い、同窓会が正式に発足した。開催中の外大祭にあわせて、ホームカミングデー

ーも開催され、OB・OG や家族ら約 800 人が参加した。

## 11. その他

### NHK@キャンパスに本学登場

大学生がキャンパスから発信するNHK衛星第1放送の国際情報番組「@キャンパス」に12月20日、本学が登場した。企画、撮影、編集、キャスターなどをすべて本学の10人の学生スタッフが中心となって制作、ゲストに本学OBの増田英彦氏を迎えて収録が行われた。

## 財務の概要

### 1. 学校法人関西外国語大学の平成 21 年度決算について

決算概要は以下のとおりである。この決算は監事及び公認会計士の監査を受け、評議員会の意見を聴いた上、理事会で決定した。

収入は、補助金収入の伸び悩みや 18 歳人口の減少を反映した入学志願者の減少による手数料収入の減少があったが、学納金収入の増加、資産運用収入の増加等があり、予算比増加となった。

支出は、大阪国税局枚方宿舎跡地とこれに隣接する小松製作所大阪工場土地の購入を除いて、大規模な施設・設備の新築・整備事業がなかったこと、教育研究費や管理経費の増勢を経営努力でカバーしたことにより、予算比減少となった。

この結果、財政の健全性を十分に確保した決算となった。

#### 資金収支計算書

資金収支の合計額は、316 億 9987 万円（予算比 2 億 8363 万円増）となった。

主な収入は、学納金収入 141 億 6670 万円（同 5 億 1670 万円増）、手数料収入 4 億 285 万円（同 714 万円減）、補助金収入 7 億 3135 万円（同 1 億 3035 万円増）、資産運用収入 7 億 4445 万円（同 1445 万円増）、前受金収入 82 億 2361 万円（同 9 億 2361 万円増）となった。

主な支出は、人件費支出 41 億 7764 万円（同 2464 万円増）、教育研究経費支出 27 億 2998 万円（同 998 万円増）、管理経費支出 9 億 2933 万円（同 1 億 3066 万円減）、施設関係支出 9 億 1897 万円（同 11 億 5100 万円減）、設備関係支出 3 億 2217 万円（同 2 億 5782 万円減）、資産運用支出 85 億 900 万円（同 900 万円増）となった。

#### 消費収支計算書

帰属収入合計は 162 億 2834 万円（予算比 6 億 9434 万円増）、基本金組入額は 66 億 7841 万円で、消費収入合計は 95 億 4992 万円（同 7 億 8592 万円増）となった。

主な消費支出は人件費 41 億 8109 万円（同 2309 万円増）、教育研究経費 40 億 8331 万円（同 1331 万円増）、管理経費 12 億 6798 万円（同 1 億 2501 万円減）、除却による資産処分差額 2314 万円（同 1785 万円減）で、消費支出合計は 95 億 6029 万円（同 1 億 645 万円減）となった。

その結果、当年度収支差額は 1037 万円の収入超過となり、前年度繰越消費収入超過額 22 億 7329 万円を加えた翌年度繰越消費収入超過額は 22 億 6291 万円となった。

#### 貸借対照表

資産の合計は、1673 億 4934 万円で、前年度末に比べて 61 億 9562 万円増加している。これは主として第 2 号基本金、第 3 号基本金、減価償却引当特定資産への繰入れ

に伴う「その他の固定資産」の増加によるものである。

負債の合計は 96 億 6301 万円で、前年度末に比べて 4 億 7241 万円減少した。

基本金は 1554 億 2341 万円で、前年度末比 66 億 7841 万円増加した。第 1 号基本金が 10 億 6041 万円、第 2 号基本金が 16 億 1800 万円、第 3 号基本金が 40 億円それぞれ増加したためである。

当法人において運用する金融商品は、満期保有目的の債権である。これらの債権は満期償還時に、元本が保証されており、運用期間中の時価が貸借対照表計上額を下回っていても、その差損が実現する可能性はきわめて低い。なお、仕組債については、本表に含めて記載している。

## まとめ

「18 歳人口」の減少や大学間の競争の激化は、本学の学納金や検定料など主要な収入に対してマイナスの影響を与つつある。一方、教育・研究の一層の充実を図っていくためには、人件費や教育研究経費、管理経費など支出の増加傾向が続くことは必至である。

経営環境は厳しいものがあるが、学生の夢と希望を育む大学として教学面での一層の充実を図ると同時に、教育環境のさらなる整備・充実を進め得る財政運営を継続していく方針である。

## 2. 財務比率の推移

(単位：%)

比率名	算式	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
帰属収支差額比率	$\frac{\text{帰属収入} - \text{消費支出}}{\text{帰属収入}}$	43.5	40.2	44.6	42.6	41.0
消費収支比率	$\frac{\text{消費支出}}{\text{消費収入}}$	97.7	96.6	105.4	90.5	100.1
学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒納付金}}{\text{帰属収入}}$	89.7	88.4	88.7	87.3	87.2
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{帰属収入}}$	25.7	25.7	25.4	26.0	25.7
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰属収入}}$	22.9	24.4	22.2	23.7	25.16
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{帰属収入}}$	7.4	7.5	7.3	7.4	7.8
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	173.1	173.2	159.1	160.9	156.4
負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{自己資金}^1}$	7.9	7.5	7.0	6.7	6.1
自己資金構成比率	$\frac{\text{自己資金}}{\text{総資金}^2}$	92.7	93.1	93.4	93.7	94.2
基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

1 自己資金 = 基本金 + 消費収支差額

2 総資金 = 負債 + 基本金 + 消費収支差額

小数点 2 位以下端数切捨て

## ご参考

### 学部・学科等の入学定員、学生数の状況

(平成22年5月1日現在)

				入学定員	3年次 編入定員	収容定員	在籍者数	定員比
大 学	大学院 外国語学 研究科	前期	英語学専攻	15		30	26	0.86
			言語文化専攻	20		40	32	0.80
		後期	英語学専攻	3		9	2	0.22
			言語文化専攻	3		9	9	1.00
		計		41		88	69	0.78
	外国語学部	英米語学科		1,200	300	5,400	6,401	1.18
		スペイン語学科		250	25	1,050	1,173	1.11
		計		1,450	325	6,450	7,574	1.17
	国際言語学部 国際言語コミュニケーション学科			700	100	2,800	3,156	1.12
	大学合計			2,191	425	9,338	10,799	1.15
留学生別科			400		400	457	1.14	
短期 大学部	英米語学科		900		2,000	2,346	1.17	
	短大合計		900		2,000	2,346	1.17	
総計			3,491	425	11,738	13,602	1.15	